

平成 30 年度第 2 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	平成 30 年 5 月 8 日（火）午前 10 時 30 分から午前 10 時 45 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 庁議室		
出席者	委員長	向井副市長	
	委員	津山副市長 萬谷法令遵守監察監 中西会計契約部長 川尻市民生活部長 奥田環境部長 梅森観光経済部長 岡本都市整備部長 杉野建設部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 2 人）	担当課	子ども未来部 子育て相談課
議題 又は 案件	1 学習支援事業に係る公募型プロポーザル方式実施要項		
決定又は 取り纏め 事項	1 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>担当課 子育て相談課です。この学習支援事業に関しましては、経済的困難を抱える世帯の子どもたちが学習の力を身につけて、今後の進学を可能にするために行うもので事業としては、奈良市在住のひとり親世帯の中学生及び就学援助を受けている程度の世帯の子どもたちを対象に学習支援を公民館等で実施するものです。退職教員や大学生のボランティアにより学習の定着を図るための学習支援、進路や家庭の相談対応、学習支援者への研修の実施、また、それらの業務管理責任者を設置して、総合的な業務管理をお願いしたいと思っております。履行期間は平成 31 年 3 月 31 日までです。プロポーザル方式を採用する理由としては、一つ目は、学力の向上や学習習慣の定着を図るという大きな目的の中で、高校へ入学するために、子どもの成長発達に合わせた支援が必須であり、そのためにあらゆるスキルを使い指導していくことが必要であること、そして二つ目は、対象の子どもたちに寄り添いながら支援を行う必要があること、三つ目に行政や学校、地域など、関係機関と連携しながら行っていく必要があること、これらの理由を考慮すると、単に価格競争ではなく、時間やノウハウを必要とする事業なので、そのためにはプロポーザル方式で業者を選定したいと考えております。スケジュールとしては、夏休みになるまでには調整したいと思っております。求めたい提案内容ですが学習支援というのは、子どもたちに合わせたものでなければいけませんので、今後学習支援の具体的な提案、困難な子どもたちを把握する手段の提案、それから学習ボランティアを確保する提案、また相談対応の方法等も提案していただきたいと思っております。その他としまして相談対応者の研修等もやっていただきたいと思っております。</p>			

ます。以上のようなことからプロポーザル方式の方を利用させていただきたいと思っております。

委員長 事業内容につきまして各自疑問等ありましたらご質問していただけたらと思います。

委員 たとえばどのような業者を想定していますか。

担当課 他の自治体でも類似した教室等を行っているNPO等団体、また大阪や奈良でもいくつかNPOで存在するようでそういったところを想定しています。何年か前に県がこの内容でされた際は、塾経営者とNPOが2・3者くらいあったというの聞いております。

委員長 市内3か所ですけど、1か所何人くらいを想定されていますか。

担当課 1か所15人程度を想定しています。

委員長 学習支援となると学習の状況が学年ごとに全然違いますが、そういうのはどうするんですか。

担当課 そこも提案していただき、個別指導、集団指導等提案していただきながら、いろんな方法を用いながらやっていきたいなと思っています。

委員長 これは3か所とも同じ業者ですか。

担当課 これは別の業者です。地域性とか公民館の場所等を見た場合に一つ一つ違う業者にやっていただいた方が良くかなと思います。

委員長 場所ごとにやり方が変わるといことで、クラス分けする場所もあれば個別でやる場所もあるということ別統一しないということですか。

担当課 そのあたりは地域性というのがあると思いますので、その辺は、業者からの提案等も受けながら考慮していきたいと思っています。

委員 これはどのくらいの頻度で、子どもはここへ来るのですか。

担当課 今のところ週一を想定しています。授業が終わった後、中学生なので夕方、大体2時間程度です。

委員 中学生で、三箇所くらいなら行ける距離ですか。

担当課 場所ですが、3か所で奈良市全域をカバーできるとは思っておりません。その3か所については子どもの貧困についてのアンケートの調査結果を踏まえ、また類似の事業をしている場所もありますので、地域の状況も踏まえて3か所を決めていきたいと思っております。

委員 そうなってくると、その類似事業との関係性を今後整理していく必要があると思います。プロポーザルではなくて施策的な話ですが。

委員長 募集方法もプロポーザルに任せるのですか。

担当課 その提案もしていただこうと思っておりますが、ひとり親世帯とか生活困窮世帯が対象ですので、親御さんにはアプローチしていく必要があると思っています。

委員 来年度以降は今年状況を見てということですね。範囲は広げるのですか。

担当課 児童館の関係性や地域との関係性がありますので、どんどん広げていくというのではなく、状況等を考慮しつつ行っていくつもりです。

委員長 これは費用も自己負担ではないのですか。

担当課 国からの補助があるので、自己負担はございません。

委員長 対象者の枠を市がある程度決めないと、生活困窮者という基準はあったとしても、対象が館によって全然違うというのはおかしいと思います。市の方針、市がどこに焦点を当てるか、そこは教育委員会との関係もありますし。

担当課 教育委員会からもアドバイスをいただきたいと思います。

委員 対象者が多かった時にどう振り分けをするんですか。

担当課 15人と設定したのは県の同種事業の実績も見て定員をまず設定しました。

委員 こういうことをやっている塾もあると思うのですが、そうすると民業圧迫、施策的な話になるのですが、そういうことを調整とかしているのですか。

担当課 民間の塾のリサーチをやってはいませんが、民間の塾とは違い、無料であることと、あとはそういう世帯の子どもたちですので、相談もやっぱり重視していかななくてはいけないので、塾とは考え方が違うと思っています。

委員 3年間きっちりやるイメージですか。

担当課 はい。

委員長 その方針というか、将来的なビジョンをはっきりさせて、その対象も生活困窮というところで手を挙げにくいのではないかっていうことも、少し気になることです。これ三つの場所に一つの事業所が三つとも手を挙げて良いんですか。

担当課 一応それを妨げることはできないと思っております。三つの場所で手を挙げていただいてもその中から一番良い事業所を選んでいく形になると思います。

委員 国庫補助がありますが、それによる制約はあるのですか。

担当課 困窮者の設定も、非課税世帯しか駄目とか、そういうのは全くないです。

委員 提案内容の中の、学習支援で困難な状況にある子どもたちを把握する手段にかかる提案ってあるんですけど、この困難な状況ってというのは経済的なものだけじゃなくて他の要因も絡めてということですか。

担当課 そのことにつきましては国から、経済的な困窮者ということと、それとひとり親家庭ということを言われておりますので、その設定をしています。今年度アンケート調査をしました結果、ひとり親であってもある一定の収入があったら塾に行かせている率が高くなっております。そういうことから考えたら塾に行かせてないというのはひとり親の中でもやはり生活に困窮している方々が多いということと、ひとり親家庭の半分が大体困窮者と言われておりますので、そのあたりでそういう対象になってくると想定しております。

委員 この求めたい提案内容の困難な状況にある子どもたちを把握する手段にかかる提案ですが、具体的にはどんな提案をしてもらうのかイメージはありますか。

担当課 親支援をしているような団体からの親へのアプローチとかいうのを、想定しております。

委員 提案してもらって、その提案が良いとなったときに実際にそういういろんなアプローチや募集をするのは市がするのですか。

担当課 市や地域の方も協力という形での調整する必要があると思っています。

委員 そのほかに市がしないことで何か提案してくれるのでしょうか。

担当課 民間のネットワークや地域のネットワークを持っていた場合、それらを活用したのものがあるかと想定しております。また、私たちでは気づかない行政、又は社

会福祉協議会等そういうものを利用した提案もあるかと想定しております。

委員 参加条件に過去に実績とか、そういうしぼりはありますか。

担当課 はい。

委員 全く初めてというところに、市が初めて行う事業を任せるとするのは不安な部分もないのでしょうか。

担当課 委員のおっしゃる通りだと思います。この事業自身、実績のある業者が少ないですので、そこまでやった場合に選定する業者を広げられるのかという不安もありまして、そこは重々考えていかないといけないと思います。

委員長 事業に関することについては詰めないといけないことがたくさんあると思います。その三つがそれぞれ違う提案で事業者が選ばれたら、例えば困難な状況にある子どもたちを把握する手段が事業者によって違うのは問題なので整合性を持っておかないといけないと思います。ばらばらにする理屈は何ですか。

担当課 地域性に沿ったものやっていたとということです。委員長が言われたように、ある程度のレベルは調整して行って、地域性というのはその地域で自治会はこう活動している、というようなところと結びついてというような、そういう類の地域性という意味です。

委員 そうしたらやっぱり一番必要な部分はこれで、これについては各3つとも同じレベルを担保するようにしておかないといけないと思います。

委員長 だからこの生活困窮というのもやっぱり決めておかないと、もちろんそこに例外があっても良いですけど、基本線はいわゆる要領に準ずるような世帯までだと。

担当課 こちらでここには書いていないのですが委員長が言われたように困窮者の定義と言ったときに国の定義はないですので、私達の中では就学援助受給水準を基準にすると非課税世帯も生活保護世帯も、そこにプラスアルファ程度の人達も入っているんで、大体そのあたりの所得水準の世帯を想定されるのが一番良いだろうと話し合いはしております。

委員 今はとりあえず試行モデル的な説明をしているので、今となってはプロポーザルの是非ということなので、今までの意見をもうちょっと汲んだような仕様書とのか整理し直さなくてははいけませんね。

委員長 プロポーザルで提案をしてもらうとなると、その提案内容とか、今出ているような話もしっかり整理をしてもらわないと、実際の募集や運営に関して課題があると思います。

委員 今回沢山の意見が出ましたので、それら盛り込んで募集要項を整理してください。今後の運営を含めて、詰めておいて下さい。

委員長 事業者募集については競争入札でなくて、この委員会ではプロポーザル方式の方が適切であるという判断ではみなさんよろしいですか。

委員 はい。

【資料1】平成30年度第2回奈良市プロポーザル方式採否審査会調書

【資料2】学習支援事業に係る公募型プロポーザル方式実施要項

平成 30 年度第 2 回奈良市プロポーザル採否審査会会議録

開催日時	平成 30 年 5 月 8 日（火）午前 10 時 45 分から午前 11 時 15 分まで		
開催場所	奈良市役所 中央棟 5 階 庁議室		
出席者	委員長	向井副市長	
	委員	津山副市長 萬谷法令遵守監察監 中西会計契約部長 川尻市民生活部長 奥田環境部長 梅森観光経済部長 岡本都市整備部長 杉野建設部長	
	事務局	契約課長、契約課長補佐、契約課契約係長	
開催形態	公開（傍聴人 2 人）	担当課	資産経営課
議題 又は 案件	2 奈良市本庁舎窓口環境整備計画作成業務委託		
決定又は 取り纏め 事項	2 採用		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>担当課 資産経営課では、本庁舎の耐震化を、平成 32 年度末を目処に進めているところですが、それと併せて、当課と行政経営課が中心となり本庁舎の窓口の改革を行う予定でいます。この窓口改革の前提としてインターネット、郵便、コンビニあるいは近くの出張所、行政センター・サービスセンター等で手続きが可能にすることがありますが、最終的に本庁舎に来られた方に、必要な手続きを分かりやすくし、最小限の時間と経路ですむという視点で窓口の改革を進めたいと考えています。そのことが本庁舎の機能向上に繋がると考えています。今年度はその計画を作成する予定でいますが、そのための事業者を今回プロポーザル方式で選定することを考えています。この計画を作成するにあたり現在の窓口や執務室の利用状況や業務内容の分析を行い、市民の利便性・業務の効率性・効率化など総合的な視点の基に、計画を作成しなければなりません。そのため、事業者には市民の動線調査や空間設計などの専門性、創造性、オフィス環境に関する豊富な知識や経験そして組織や業務体制の効率化なども絡んでくることから、高いコンサルティング能力が必要と考えられます。価格のみによる競争入札という形ではなく、企画書の提出やプレゼンテーションによる、プロポーザル方式によって総合的なそういった業者の能力を見たいと、業者を選定したいと考えているところです。</p> <p>委員 この窓口環境の対象課っていうのは決まっているのですか。</p> <p>担当課 まだ限定はしていません。ある程度は市側で決めるような形で考えていますが、そこは業者の能力を見るという意味で意見も聞きたいと思っています。</p> <p>委員 これは現状をキープした絵を描きなさいということですか。</p>			

担当課 いいえ、キープという形ではなく、最終的には利用状況の調査等と必要なスペースの調査を行った上で。

委員 その調査をして、こう配置したらより効率的であるということも含めるということですか。

担当課 はい。今回のプロポーザルでの提案に関しては、現況の形を基にどういった窓口の再編成ができるのかを提案してもらいたいと考えています。

委員 一階フロアの形態を変えるという提案もあり得ますか。

担当課 提案としてはあり得ると考えています。要はそういった色々な考え方ができますので、事業者の方にそれぞれ提案をいただいて、それに基づいて業者選定をしたいというのが、今回のプロポーザル方式を採用したい理由です。

委員長 確かにこれは色んな提案能力が業者によって、経験とかで色々あるのだろうけど、大きなことを言われて、費用が莫大にかかっても出来ませんし、夢物語でも仕方ないだろうし、業者の条件は何かつけないのですか。

担当課 はい。今まで市庁舎の窓口改修をやったことがある、実績を条件として考えています。

委員 それは総合窓口ではないのですね。窓口環境を考えるのですね。

担当課 提案によっては、総合窓口というのは出てくるかと考えています。

委員 ただ、他市への視察は行っていると思いますが、実際、本市より人口の少ない市でも総合窓口は難しいとなっている中で、総合窓口は無理だと思えます。窓口環境を変える方を重点的にという方がよいと思えます。

担当課 委員が言うようにその方が現実的であると思っております。

委員 各自治体でもこういった業務委託は、一般的にやっているのですか。

担当課 はい、こういった委託は新築や改築と併せて多く行われています。

委員 耐震設計をこれから出すのであれば、この時期でよいのですか。来年の3月ということで、そのへんはやりながら摺り合わせるのですか。

担当課 はい、やりながら摺り合わせることが出来る部分は、摺り合わせていきますし、それでも摺り合わせられない部分は、庁舎側の設計変更を考えております。ただ、大きな変更というのは考えていません。

委員 要は、窓口環境という名前だが、窓口の構成を変えようということですね。

委員 この窓口課の定義みたいのはある程度決めているのですか。一階がメインで二階がというイメージがありますが、他にも窓口課はいっぱいありますが、そういった課は、その定義に入りますか。

担当課 想定しているのが、中央棟一階あるいは二階、あるいは北棟の一階の部分であるような窓口課というのを一応想定してはいます。

委員 窓口と執務環境とありますが、執務環境は窓口課だけじゃなく、全体に及ぶと思いますが、この執務環境というのは窓口課の執務環境ですか。

担当課 はい、主にそういうことです。

委員 窓口って一般的にイメージしている窓口以外に、恐らくいっぱいあると思えますし、他の窓口は、執務環境は議論の対象にならないことになってしまうのですか。

	<p>担当課 そのあたりも提案もいただければ、一番よいかなどは思っていますが、予算の関係とかもあり、執務室の環境を変えるにしても、例えば今の備品類を活かしながら、こういった形のものができるのかといった部分も含めた提案は頂きたいなとは思ってはいます。</p> <p>委員 耐震に絡んで、内装的なものはリニューアルになるのですか。床とか壁とか。</p> <p>担当課 耐震に基づいて、今回この窓口改修の部分プラスするような形の改装は考えています。</p> <p>委員 これ、設計事務所がある程度考えると思いますが、この業者は窓口の部分に限って自分のところで考えて、設計事務所が提案するという事でよいですか。</p> <p>担当課 提案をこちらにいただいて、それをまた調整を取り、最終的には設計事務所の設計の中に入れていくような形です。</p> <p>委員長 はい、どうですか。プロポーザル方式の採用には異議はないかと思いますがどうですか、よろしいですか。</p> <p>委員 はい。</p>
<p>資 料</p>	<p>【資料1】奈良市本庁舎窓口環境整備計画作成業務委託に係るプロポーザル実施要領（案）</p>